

---

# 雨の死神

翳鴉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雨の死神

### 【Nコード】

N2926Z

### 【作者名】

翳鴉

### 【あらすじ】

雨の日に一人立っている少女。そんな所に幼い少年が傘を渡してくれた。

そして10年後…。

## プロローグ

ある雨の日　　。

「…誰も、僕の事を信じてくれない。」

雨の日　　。

「…世界が無くなれば良い。」

雨の日　　。

「…人間など…所詮…。」

少女は一人、雨の中を歩いていた。

「ちょっと、お姉ちゃん。」

「…!?!?。」

幼い少年は少女に話しかけてきて、傘を渡した。

「お姉ちゃん、風邪引く。」

「…なぜ…?。」

「だって、母ちゃんも父ちゃんも人には優しくしろって?。」

「!?!?。そうか。」

「じゃあね。」

幼い少年は雨の中を走って行った。

そして、少女はどこかに消えていってしまった。

「…雨が好きな人間はいるのだろうか……。」

## 1句 日常変化

「要！さつさと起きる！」

ガラッ！ガラッ！

女の人が部屋のカーテンを開ける。

「ん？…。」

ベッドには、少年が寝ていた。

「要！さつさとおきなさい！」

「…今何時？」

「7時45分よ。」

「…ふわあ〜…。」

少年は用意を始める。

「朝ごはんできてるから。」

「ん。分かった。」

少年はあいまいな返事をする。

少年の名前は『時雨<sup>しぐれかなめ</sup>要』中学2年生。

要の中学校は学ランではなく、高校生などが着る制服でいいらしい。

「はい、要。お弁当！」

「ありがとな、ねえちゃん。じゃあ行ってくる。」

要は口にパンをくわえて家を出た。

「……。」

要はとても、マイペース。

「うわぁーん！」

子供が道中で泣いていた。

「ん？…どうした？」

「お母さんがいなくなったの。」

「そうか、じゃあお兄ちゃんが一緒に探してやるよ」「ニコッ  
「ありがとう!」

そして、要は子供の母親を見つけて、学校に向かう。

時刻08:10。

「…ん?あつゴミ。」

要は道に落ちてるゴミを公園のゴミ箱にまで入れる。

「はあ…今日も平和な日常だなあ」

要はとても親切?というか、そう言う”正義感”がある。

「あつ…遅刻するな。」

要はパンを全て食べる。

そして、いつものように、登校する。

「ふわあ…眠い。」

「おつす!時雨!」

「ん?…澤倉?なんだ?」

「相変わらずだな。お前は。」

「???。」

「いいから、さっさと行かないと遅刻するぞ!」

「知ってる。」

要は成績優秀、女子にも男子にもそこそこ人気者。

先生にも頼られる事が多いが。

あまりのマイペースに結構ウザがられる事もある。

ガラッ

教室に入り、席に着く。

要の席は窓際が一番後ろの席。

「時雨君！ここ、教えてほしいの。いいかな？」  
「ん？…別にいいけど。」  
要は誰にでも親切で優しい。

タツ…。

「…雨が降ってない日は嫌いだ…。」  
電信柱の上に立つ少女、小さな傘を広げていた。

「雨…。」

「雨がどうかしたの？時雨君？」

「いや…。」

要は窓から外を見る。

ガラッ

「……要……！」

「ん？」

バコンッ！！

「!?!?。」

「時雨君大丈夫？」

いきなり要が少女に殴られる。

「痛ッ…。」

「あんたね！告白されてもつと言い方とか無いわけ……！」

「…呉羽？…。」

「聞け！！人の話……！」

少女の名前は『笹野呉羽』はくわのささの 要の幼馴染。

「何？…。」

「昨日、告白されたんでしょう？なら！断る言い方を考える……！」

「……はあく……悪かったよ。」

「！？……私に謝られても困るし！」

要は素直に謝る。呉羽は頬を赤くして目をそらして言う。

「俺に告白しても、意味無いのに。」

「えっ？どうしてよ？」

「俺、幼い頃からずっと思ってる人がいるしな。」

「！？……。」

「えっ……！！！！！！！！！！」

クラス中、全員が驚いていた。

「……？？」

「……時雨要……。」ボソッ

少女は、傘の持つところに書いてある名前を読んだ。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2926z/>

---

雨の死神

2011年12月11日13時53分発行